

## 看護師に対するアンケート調査 -結果のまとめ-

### 患者からの電話問い合わせ方法と割合

方法		患者割合	
	N		N
電話	29	10%未満	6
メール	0	10-30%	13
両方	1	30-50%	5
記載なし	2	50-90%	2
		90%-	1
計	32	記載なし	5
		計	32

### 対象

- 計32名
- 回答期間2013年2月12日～21日

	N		N
20代	4	男性	0
30代	20	女性	32
40代	7	計	32
50代	0		
記載なし	1		
計	32	I	10
		II	22
		計	32

### 電話問い合わせ

	N		N
有	19	C	
無	13	1日2回以上	4
計	32	毎日	3
		週2-4回	3
		週1回	3
		月1回	2
		2-3か月に1回	2
		半年に1回	2
		1年に1回	0
		計	19

### 看護師背景

- 外来化学療法患者数(人/週)

	N
0-5	0
6-10	0
11-20	0
21-30	0
31-	32
計	32

### 電話問い合わせ

	N		N
有	19	体調	19
無	13	服薬	15
計	32	食事	2
		生活一般	5
		通院・予約	11
		治療内容	2
		検査結果	0
		計	19
			(複数回答あり)

### 電話問い合わせ時の対応

電話問い合わせ時の対応		本人のみで判断	
	N		N
有	19	本人のみで判断	12
無	13	医師と相談	19
計	32	看護師と相談	7
		薬剤師と相談	0
		計	19
			(複数回答あり)

  

電話対応のみ		往診依頼	
	N		N
電話対応のみ	18	往診依頼	0
すぐに受診	11	計	19
翌日以降の受診(定期外)	8		(複数回答あり)
計	32		

### 定期受診日以外の受診

定期受診日以外の受診		発熱	
	N		N
有	21	発熱	16
無	8	嘔吐	13
記載なし	3	下痢	3
計	32	食欲不振	7
		口内炎	1
		痛み	13
		呼吸困難	5
		皮膚症状	2
		出血	1
		全身倦怠感	3
		計	21
			(複数回答あり)

  

体調		服薬	
	N		N
体調	21	服薬	3
食事	0	食事	0
生活一般	0	生活一般	0
通院・予約	1	通院・予約	1
治療内容	0	治療内容	0
検査結果	0	検査結果	0
その他	0	その他	0
計	21	計	21
			(複数回答あり)

### 対応に苦慮した例

対応に苦慮した例		体調	
	N		N
有	18	体調	15
無	8	服薬	10
記載なし	6	食事	1
計	32	生活一般	0
		通院・予約	4
		治療内容	2
		検査結果	0
		その他	2
		計	18
			(複数回答可)

  

\*苦慮した具体例

- 緊急受診の必要性の有無
- 不安などによる連日の問い合わせ
- 担当医とすぐに連絡がとれず対応が困難だったこと
- トリアージに迷う場合など。
- 実際にどの程度の状態なのかが見えにくい分、こちらも電話をかけてる本人・家族も互いに判断に迷ってしまう。また主治医不在時などは最終判断を誰に仰ぐか困る。
- 次回投与日の予約を変更したいと言われ、主治医に連絡がとれないと困ります

### 緊急入院

緊急入院		発熱	
	N		N
有	21	発熱	12
無	0	嘔吐	8
記載なし	0	下痢	5
計	21	食欲不振	17
		口内炎	0
		痛み	6
		呼吸困難	9
		皮膚症状	0
		出血	1
		全身倦怠感	5
		計	21
			(複数回答可)

  

\*具体例

- 急性胆管炎
- 蜂窩織炎
- 酸欠化不良
- 疼痛

### 定期受診日以外の受診

定期受診日以外の受診		1日2回以上	
	N	C	N
有	21	1日2回以上	0
無	8	毎日	1
記載なし	3	週2-4回	4
計	32	週1回	7
		月1回	3
		2-3か月に1回	4
		半年に1回	0
		1年に1回	0
		記載なし	2
		計	21

### 外来化学療法中の相談

外来化学療法中の相談		1日2回以上	
	N	C	N
有	20	1日2回以上	1
無	11	毎日	1
記載なし	1	週2-4回	4
計	32	週1回	13
		月1回	1
		2-3か月に1回	0
		半年に1回	0
		1年に1回	0
		計	20

### 外来化学療法中の相談

	N
有	20
無	11
記載なし	1
計	32

  

	N
体調	19
服薬	5
食事	1
生活一般	1
通院・予約	1
治療内容	1
検査結果	0
記載なし	1
計	20

(複数回答可)

### 自由記載に記載された意見

- 患者にとっては連絡しやすい方法、医療者にとっては充分に対応できる時間が必要だと思う。
- 手厚いサポートにはマンパワーが必要と考える。
- 対応について明確な標準化されたものがあると良い。
- 来院している患者へ対応しながら電話相談に対応することが難しい場合もある。
- 患者用に、病院へ連絡を取る基準を作成するとよいと考える。

### 外来化学療法中の相談 すぐに連絡をしてもらいたかった場合

	N
有	3
無	10
計	13

  

	N
100%	1
50%	1
25%	8
10%	3
-10%	6
記載なし	1
計	20

  

	N
体調	19
服薬	5
食事	1
生活一般	1
通院・予約	1
治療内容	1
検査結果	0
記載なし	1
計	20

(複数回答可)

### 外来化学療法中の相談 すぐに連絡をしてもらいたかった場合

	N
有	3
無	10
計	13

**\*具体例**

- ・発熱・痛み、呼吸音などの症状悪化
- ・発熱時の抗生物質内服を、副作用や解熱のため自己判断で中断した。
- ・微熱が出て体調がよくないため、ご本人の判断で、かぜ薬をのんでいた。受診時に、そのこと話され、Dr.からも相談してからのむよう説明を受けていた。
- ・発熱などにより食事もとれず、脱水傾向が著明だった。
- ・経口摂取ができなかったが、自宅でがまんしていた。腹痛があったが、今までもあったのががまんしていたが穿孔していた
- 呼吸困難があったが放置、来院時にはspO2 が80%台だった。